

平成三十一年二月

教育行政執行方針

平成三十一年第一回登別市議会定例会にあたり、教育委員会所管の行政執行に関する基本方針を申し上げます。

現在我が国では、生産年齢人口の減少や急速な技術革新、グローバル化の進展などにより、社会構造や雇用環境、価値観等の変化が私たちの予測を超えて一層加速していく時代を迎えております。

こうした中、国は昨年、第三期教育振興基本計画を策定し、十数年先の社会の変化を見据えた教育政策に関する基本的な方針や、今後五年間の教育政策の目指すべき方向性を示しました。

教育委員会としましては、この計画を参酌しながら、本市教育の新たな指針となる登別市教育振興基本計画が、「登別の教育推進に関する検討会議」との協議を経て平成三十一年三月に策定となります。

で、今後はこの計画に沿って、登別市の教育目標である「豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成」の実現を目指し、各種施策を総合的、計画的に推進してまいります。

以下、平成三十一年度の重点項目について申し上げます。

はじめに地域とともにある学校づくりについてであります。

これまで本市においては、コミュニティ・スクールと学校支援地域本部事業を導入し、地域の教育力を活用した学校づくりを進めてまいりました。こうした学校支援の取組を通して、学校・家庭・地域の連携はさまざまな形で展開され、地域づくりにも大きな成果をあげておりますので、今後はさらにコーディネート機能の拡充などを図り、地

域と学校が連携、協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働活動に発展するよう努めてまいります。

次に学校教育についてであります。

幼保・小・中連携については、引き続き相互参観や合同研修などを通してそれぞれの教育活動への理解を深めるとともに、子ども一人一人が安心して学校生活を始めることができるよう、小学校からのスタートカリキュラムの作成に取り組んでまいります。

また、小中一貫教育については、登別市小中一貫教育基本方針を踏まえ、系統的、継続的な指導が推進されるよう促してまいります。

キャリア教育においては、市内の小中学校が登別青嶺高等学校や登

別明日中等教育学校との連携を図り、社会的、職業的自立に向けて必要な能力や態度が育成されるよう支援してまいります。

学力の向上については、全国学力・学習状況調査の結果から算数・数学などに課題がみられますので、引き続き教育課程課題検討委員会を中心に、学習指導の工夫・改善を図ってまいります。

また、プログラミング教育では、登別市情報教育推進協議会や日本工学院北海道専門学校と連携し、各学校における具体的な取組が進められるよう支援してまいります。

英語教育については、引き続き登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、外国語指導助手の活用を図り、コミュニケーション能

力の育成と国際理解教育の推進に努めてまいります。

また、小学校四年生全員に英検ジュニアを実施するとともに、英検三級を受験する中学校生徒に対し検定料の半額を補助し、児童・生徒の英語学習に対する意欲を支えてまいります。

教職員の指導力の向上については、教育実践研究奨励校を指定し、各校の研究・研修活動を支援するとともに、幌別小学校と幌別西小学校が取り組む学校力向上に関する総合実践事業の成果が、市内各学校に還元されるよう促してまいります。

また、登別市立学校における働き方改革基本方針に基づき、部活動指導に関わる負担の軽減や、勤務時間を意識した働き方の推進と学校運営体制の充実を促し、教職員が健康でやりがいを持って働くことが

できる環境整備に努めてまいります。

学校図書館については、学校図書館司書や学校図書館担当者が中心となり、本を身近に感じる環境づくりと多様な本に触れる機会の充実に努め、読書習慣の定着と読書意欲の向上が図られるよう促してまいります。

豊かな心の育成については、登別温泉やキウシト湿原、ふおれすと鉾山など地域資源を活用した体験活動や、道德教育推進教師を中心とした「特別の教科 道德」の時間の充実を促し、生命を大切にすることを思いやりの心、郷土を愛する心など、児童・生徒の豊かな情操を育んでまいります。

健康や体力づくりについては、全国体力・運動能力調査の結果に基づき、一校一実践の取組を推奨するとともに、スポーツ指導員の派遣を通して運動に親しむ意識が高まるよう努めてまいります。

また健康教育では、「早寝早起朝ごはん」の啓発活動や、望ましい食習慣の形成を図る食育の指導、性教育や薬物乱用防止に関する指導などの充実を促してまいります。

次に、児童・生徒の安全対策については、登別市通学路交通安全プログラム の進行管理により通学路の安全確保に努めるとともに、家庭や地域、関係機関と連携し、避難訓練や防犯教室、情報モラル教室、消費者教室などの取組を促してまいります。

また、登別市総合防災訓練と、北海道が主催する一日防災学校を鷺別小学校で実施いたします。

不登校・いじめ対策については、引き続き教育指導専門員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員の配置による相談体制の充実と、適応指導教室での登校支援に努めるとともに、登別市不登校・いじめ等対策会議を活用し、問題の未然防止や、早期発見・早期対応に取り組んでまいります。

特別支援教育については、各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に個別の教育支援計画・指導計画に基づく適切な指導がなされるよう支援してまいります。

また、登別市特別支援教育振興協議会が取り組む指導内容の研究や交流事業などの活動を支援してまいります。

学校の適正配置については、登別市学校適正配置基本方針をもとに、これまでも学校運営協議会などで意見交換をしておりますが、今年度は保護者や地域の皆さんとの意見交換の機会を設け、今後の方性を検討してまいります。

次に、社会教育についてであります。

人生一〇〇年時代の到来が予測される中、今まで以上に、市民一人一人が学び続け、学んだことを活かして活躍することがきる活

力ある生涯学習社会の実現を目指して、第五次社会教育中期計画に沿った各種施策を推進してまいります。

また、郷土資料館、ふおれすと鉾山、カント・レラ等の社会教育施設においては、指定管理者やボランティア団体との協働により、効果的な学習活動が提供されるよう努めてまいります。

ふるさと教育については、登別の歴史や文化、自然などを活用し、全ての市民が、郷土への関心と愛着を深めながら心豊かに暮らすことができるよう、学びの機会の充実を図ってまいります。

また、アイヌ文化に関しては、登別アイヌ協会を中心に市内関係団体の連携強化が図られるよう努めるとともに、刺しゅうなどの文化講座や各種講演会などの活動を通して、伝承と普及に努めてまい

ります。

家庭教育については、家庭が全ての教育の出発点であることを基
本に、親子の育ちを支えていくことが重要ですので、引き続き家庭
教育学級を開設し、啓発資料の提供や学習機会の充実に努めてまい
ります。

また、市内小学生が集団生活を体験する通学合宿や、子どもたち
の居場所づくりを進める放課後子ども教室は、子どもの望ましい生
活習慣や、社会性、協調性を育む上で大きな成果をあげております
ので、引き続き地域ボランティア団体の協力を得て実施してまいり
ます。

青少年の健全育成については、学校・家庭・地域との連携のもと、登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導に取り組むとともに、学校や関係機関と情報を共有し、良好な環境づくりに努めてまいります。

文化・スポーツの振興については、登別市文化・スポーツ振興財団や登別市文化協会、登別市体育協会等と連携し、市民の文化活動への参加促進や芸術を鑑賞する機会の提供、各種スポーツ教室やスポーツ大会などの活動の充実に努めてまいります。

また、東京二〇二〇オリパラで夢を育むスポーツ推進事業は、平成三十一年度、登別市水泳協会の協力のもと水泳競技のオリンピックを招き、講演会や実技講習会を開催してまいります。

本事業は、オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されている本市にとっては、子どもたちがスポーツ活動への意欲を高めることはもとより、世界に目を向けるきっかけづくりや国際理解を深める機会になるととらえております。

学校給食については、近年の食材の高騰により給食の栄養基準の確保が困難になりますので、平成三十一年四月より給食費を改定することといたします。

今後とも、安全で安心な給食の提供と衛生管理の徹底に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

図書館については、図書館活動を支援するサポーター制度を設置

し、市民が主体的に図書館活動に関わることでできる体制の構築と活躍できる場の創出に努めてまいります。

また、郷土の歴史や文化に関する資料の収集と整理、保存に努め、市民が学ぶことのできる環境づくりに取り組んでまいります。

以上、平成三十一年度の重点について申し上げますが、教育委員会としましては、未来を拓く人材の育成は、本市が持続的な発展を遂げていくために極めて重要であるという認識のもと、総合教育会議を通して市長との連携を深めながら、教育行政の推進に努めてまいります。

市民の皆さん並びに議会議員の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。